

# 車いす×旅人×シンガーソングライター もり けい いち ろう **森 圭一郎**さんのご紹介

## ■プロフィール

自然豊かな町に生まれ、父親の音楽好きに影響され中学時代にバンドを結成、文化祭でライブを行う。音楽と平行して地元で不良グループをつくる。高校で暴走族に入り、94年16歳の時バイク事故を起こし生死をさまよい両足の感覚を失い、車椅子生活が始まる。引きこもりの生活を母親が見かねて、定時制高校への入学を勧められ高校に再入学。その高校でギター部に入学しバンドをつくりヴォーカルを担当、歌う事の楽しさ、難しさを感じる。ヴォーカルだけではなく自分を表現する為に作詞・作曲を始め、22歳の時東京に行きライブハウスや、ストリートライブを行う一方、バーテンダーのアルバイトをしながら曲作りを積極的に行う。24歳の時、JRブレイクステーションオーディションに合格。25歳の時音楽事務所所属するがその年の夏、音楽の壁にぶつかり創作活動ができなくなる。自分の限界への挑戦をするため10月31日から翌年の1月末までの89日間、自主制作CD「ONE」の売り上げを旅費として北海道から鹿児島まで単独「ONEツアー」とタイトルし、ストリートライブを行う。

http://keiichiro.com/



【おぼろだれん】発売中

ツアー終了後ミニアルバム「一人じゃないから」の録音でニューヨークに行きランドゼロや、地下鉄等の場所ですトリートライブも行う。このCDは04.7.1に「一歌言」レーベルよりリリースされ、再び約90日間の北海道〜鹿児島ツアーを行う。11月、自伝「両輪ダブル・ホイール」をFM東京出版より発売。05年10月に故郷妻沼をタイトルにした自主制作CD「妻沼」を発売。再び「唄シリーズ2005〜2006」ツアーを行う。07.3/21自主制作CD「灯り」を発売。「唄シリーズ2007」ツアーを行う。07.11/23「灯り」の続編自主制作CD「いのちの灯り」を発売、全国約200あるコミュニティFMのゲスト出演を目標に「唄シリーズ2007〜2010」3年間のツアーを敢行。08.9/24ベルウッドレコードより「アンデスの風になりたい」を含む7曲入りCD発売。10.12/18唄シリーズ2007〜2010終了し全国のFM出演216局に達する。10.12/24「おぼろだれん」発売 ※おぼろだれん 徳之島の方言でありがとうという意味



1978年1月9日埼玉県熊谷市生まれ & 在住/A型/山羊座



第8回ゴールドコンサートの映像 http://youtu.be/-qRxcgv-YM8

## 祝 2011年10月15日(土)で東京国際フォーラムで開催された 第8回ゴールドコンサートでグランプリ&楽曲賞のダブル受賞!

どうやら局長講演が各地で大反響のようです 天城町役場の皆様、各先生方、生徒の皆様ありがとうございました。

**11月7日 徳之島天城中学校教育講演会**

徳之島観光大使就任!!

**講演を聴いての感想**  
天城中学校 3年A組 重村 千恵

**11月8日 鹿児島工業高校OB講演会**

**OB講演会の感想**  
鹿児島工業高校 (S)系3年 有馬 圭亮

**11月8日 鹿児島県生活指導研究協議会研究大会**

鹿児島県生活指導研究協議会の事務局担当 武岡台高校 峯吉先生の感想文

今回はお忙しい中、天城中学校に来てくださりありがとうございました。重田さんのお話を聞いてとても感動しました。夢はあきらめなければ必ず叶うと言う言葉を聞いて、自分の夢をあきらめないようにしようと思いました。私は今、建築士の仕事に興味をもっています。でも、建築士になるのは難しいよと言われる、あきらめようかなど考えていました。でも、重田さんの話を聞いて、何もがんばっていないのにあきらめようとした自分が恥ずかしくなりました。私も反省はしても後悔しないように自分の夢に向かって、もっともっとがんばろうと思いました。私の家族は新撰組が大好きです。だから、世界中の人たちに新撰組の料理を食べてもらえるようがんばってください。私も夢をあきらめずがんばります。本当にありがとうございました。

**11月4日 社会福祉法人 愛生会での講演**

新平社長をはじめ、スタッフの皆様ありがとうございました。  
山川 学 山川義塾塾長も参加!

# 関口雅代の 東日本大震災復興支援レポート



まごころ同志会として、川副先生のご支援のもと、三度目の岩手へのボランティアについて参りました。今回はあいにくの雨模様が続き、一日目は今まで活動してきた場所の視察を陸前高田市担当の副隊長安富さん引率のもと致しました。安富さんのお話では、被災者の方々はテレビで「復興が進んでいます!」などのニュースが流される度、『まだ復旧もしていないのに復興なんて!』とボランティアの減少に不安を感じているそうです。安富さんも『感動秘話なんてまだまだ早い!そんな暇があるならボランティア奨励して欲しい!』と仰っておられました。二日目は、同じく陸前高田上長部(かみおさべ)地区の瓦礫の除去をお手伝いさせて頂きました上長部は海の側ながら、山に囲まれた場所で事前に魚の冷凍加工工場があり、約800トンのサンマやイクラの冷凍庫が津波により倒壊し恐ろしい勢いで流れ込み、67世帯あった家も飲み込み、山肌3〜7メートルの高さまで瓦礫と魚介類で埋め尽くし、そしてものすごい威力の引き潮が全てを粉碎し本当に全てを奪い去ったのです。(44世帯が半壊が全壊が残っているのは23世帯だそうです。犠牲者数は8人で1人が行方不明です。集落全体の人口は約230人です。)

山に囲まれた上長部の皆さんは、津波がこんなところまで来るとは思われていなかったため、余震には気が休まらず仕事を休めたこと無く仕事をされていたそうです。上長部に限らず、犠牲者の多くは第二波でさらわれたと聞きます。一波もすごかったのですが、一波の後の二波までの間に、自宅に帰ったり、人を探しに行ったりしている間に被害にあったそうです。私達がお世話になっているまごころネットでは、この上長部地区に4月19日からいわゆる「さんま隊」がスタート。5月6日まで続けました。当時、悪臭は酷くなる一方で、気温が上がり始めた5月上旬にはすさまじい臭いと、大量発生していたハエとウジと奮闘。吐きながらの作業だったそうです。ゴールデンウィークには1日300人を超えるボランティアを投入した時期もあったそうです。ここからは場所と要望によって違ってきます。最初はボランティアによる、瓦礫の周りの腐った魚の除去。重機による大型の瓦礫、ゴミの撤去。その下や周りから出てくる、魚、ゴミをボランティアの手で片づけ。集めたゴミが多いところは、また重機で持って行ってもらう。持って行ってもらった後の細かいゴミを手で片付け(ボランティア)。表面がきれいになるまでこれを繰り返すので、回数は決まっています。畑や田んぼを復活させるのには、この見きれいになった表面を、重機で掘り返します。そして中から出てくる瓦礫、ゴミ、魚をボランティアの手で片づけ。また重機→またボランティア→・・・の工程を瓦礫やゴミが出て来なくなるまで繰り返します。ここでも回数は決まっていますが、多いところは4回続けたそうです。ここからは畑作りの工程へ。塩分を抜くために水を入れたり抜いたり繰り返したり、塩分抜きをしないでそのまま使ったり。持ち主の方々と話し合いをしながら、また何を作るのかによって変わります。まだ作物が出来るかどうかの実験段階なので、「これをすれば大丈夫」とかはしないです。畑にするならばそのあと土を耕し、ひまわりの種を撒いていきます。この気の遠くなるような作業を毎日続け、8月の時点で、最終到達点からやっと二百坪位のひまわり畑が広がりました。

そんな私達ボランティアに、作業に使う機材や泥を払うための洗い場を、小川に板を通し作ってくださったご家族がいらっしゃいます。津波でご家族を亡くされましたが、ここに住み続けるため頑張っているから。そして私達ボランティアがバスでセンターに戻る時、毎日深々と頭を下げて見送ってくれるのです。私はその姿が忘れられません。同じ境遇の方が沢山居られます。仮設住宅に移り、国の援助が断ち切られた今、孤立した被災者の方々の心のケアは最重要です。行き場の無い辛く悲しい思いを私も共有できるのか?心の隙間に温かいものを吹き込む度量などありませんが最重要であることは間違いない事実です。しかし、大変残念な事に、人員不足のせいでふれあい隊(仮設住宅で被災地の方一人一人の話を聞く)やおもいで隊(思い出の品の洗浄や修復)は休止中です。風化を食い止め、力仕事以外の活動が再開できるよう。奨励していただきたいです。半年経っても手つかずの地域も沢山あります。そのすべての場所と同じような作業が必要で、まだまだこれからです。

現在のボランティア数は一日150人くらいです。ゴールデンウィークは500人ほどでした。。。人員を確保するためにも、手作業をいかに効率良く進め、復旧を早めることも必要です。季節が暖かいうちに広範囲を浄化するために、大植地区担当の隊長三好さん(私と同じ一般のボランティアの方ですが教師を定年退職された後で月の約3分の1をまごころネットで活動しておられる)に掛け合せて高圧洗浄機を寄贈することで効率があがらないか相談したところ、その夜の隊長会議で議題に登り、是非にこのことでしたので、その日のうちに大植地区担当の末田さん引率で、遠野にあるホームセンターで給油式の高圧洗浄機と水を運ぶためのタンク、土に埋まったガラスを選別する金ふるいを寄贈させていただきました。その一連の行程で全ての方が興奮し喜んでくれた事は私の宝物になりました。私一人にできることの限界が、同志会のご支援により何人にもなったこと感謝しております。

今後も定期的に被災地に赴き、私が自力で出来ること、ご支援いただければ改善されることをレポートしていきたいと思えます。ありがとございました。(是非一度ご自分の目で感じてください。)

東京 関口雅代

この記事の作成にあたり、遠野まごころネットに私と同じ一般参加され長期滞在活動されておられる、副隊長の安富隆大さん、末田祐介さんと、友人の森井令奈さんに多大なご協力を頂きました。副隊長のお二人はいまだ現地で活動を続けられています。

まごころネットの新聞記事



約四時間で集めたものです! まだまだ出てきます。匂いひどいです。

高圧洗浄機購入しました!

すぎまの汚れも簡単に落とせます。

**9月8日 オープン!** **新撰組博多ラーメンレストラン リトルトーキョー店**  
132 S. Central Ave, Los Angeles, CA 90012  
Phone:(213) 687-7108 Fax:(213) 687-8572



前号でご紹介いたしました社団法人奄美大島青年会議所の福永健さんの読み仮名を間違えて掲載してしまいました。正しくは「たけし」です。訂正してお詫言申し上げます。

今被災地では、援助が激減しています。ボランティアも本格的な冬到来の前に、活動終了される方が増えています。仮設や、何とか生活出来るように半壊のご自宅を片付けられたりして、生活は落ち着き出してはいます。動き口を新たに見つけ、希望を見いだされた方も、中にはいらっしゃいます。しかし、まだまだ光の見えない生活をされている方もたくさんいらっしゃいます。自立に向け、今一步の後押しで抜け出せる、まだまだ目を話せない、いろいろな方と接して来ました。今後は遠隔支援が一段と必要になります。地元被災地の方々も巻き込み、本当の自立に向け幅広い応援を心掛けます。お世話になっている、まごころネット、プロジェクトネクストと連携し、本当に必要なものを支援していきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。 関口雅代

**新撰組 東日本大震災復興募金**

ゆうちょ銀行 店名:〇一八(ゼロイチハチ) 店番:018 預金種目:普通預金 口座番号:9383805 口座名義:セキグチマサヨ

■お願い:ご支援頂いた方は、お手数ですが下記アドレスに「新撰組 東日本大震災復興募金入金」というタイトルにてメールの送信をお願い致します。こちらから入金確認のご連絡を致します。  
新撰組 東日本大震災復興募金入金 doshikai\_tohoku@yahoo.co.jp  
※お名前(必須)、募金された方のご名義(必須)、お所(簡単でも結構です)、現場ボランティアに向けたメッセージ等、入力の的上送信をお願い致します。  
※ご連絡は一週間程のご猶予をいただく場合もございます。

東日本大震災から9カ月たち、日本国内でも報道が減り、ボランティアの活動も減少傾向にあります。私は5月と10月に岩手県の陸前高田や大槌町へボランティアへ行きましたが、行けばいけど、また行かなければと言う気分になります。我々が被災地へ行く時は「新撰組まごころ同志会」と言う団体名で参加しました。行く都度にボランティアセンターへ高圧洗浄機や大型の水タンク、瓦礫処理に必要な道具をまとめて寄付しました。5月に牧尾さん等と一緒にボランティアへ参加した関口雅代さんは、毎月「新撰組まごころ同志会」として6回行っています。関口さんの努力があり、現地ボランティアセンターのリーダークラスの人たちとも意見交換などで親交が深まり、新撰組の貢献は結構有名になっています。いま、社会貢献を掲げる同志会が日本の危機に際し、東日本震災援助ボランティア団体を支援することは大切な活動の一つです。今後とも今まで通り「新撰組まごころ同志会」を活動窓口として、口座を設け募金を募り、そこから同志会の意志が伝わるボランティア団体への支援活動をするのも一つの考えだと思えます。皆様のご支援何卒お願い申し上げます。 代表 川副嘉久